

会 議 記 録 (1)

会議名称		北本市北本駅東口駅前広場屋根整備事業基本計画検討委員会（第3回）
開会及び閉会日時		令和4年11月18日（金）10時00分から
開催場所		北本市文化センター3階 第3会議室
議長氏名		岡田 公彦
出席委員（者）氏名		岡田公彦 坂口真一 中田隆 加藤浩 秋葉清 横田清 大島博明 浦直樹 清水孝良 斉藤彰
欠席委員（者）氏名		鯨井憲一 福島洋輔 佐藤慎也 加藤浩
説明者の職氏名		嵐課長、菅主幹
事務局職員職氏名		小林都市整備部長、嵐建設課長、菅主幹、佐藤主任
会 次 第	議	○北本市北本駅東口駅前広場屋根整備事業基本計画検討委員会（第3回） 1 開 会 2 議 題 （1）資料1についての説明 3 連絡事項 4 閉 会
配布資料		・次第 ・（資料1）整備概要について ・（資料2）北本市附属機関等の会議の公開に関する規則

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	○検討委員会（第３回）
	１ 開 会
	(省略)
	(委員会要綱第６条により委員長が議長となる。)
座長	【会議の公開について説明】
委員	・説明のありました会議の公開についてはいかがでしょうか。
座長	・異議なし。
事務局	・異議がないようですので公開することとします。なお、本日は14名のうち10名が出席していますので、委員会要綱第6条第2項に照らして会議が成立していることを申し添えます。では傍聴人の入室を許可してください。
	・傍聴人は1名です。
事務局	２ 議 題
	(１) 資料１ 整備概要についての説明
	(省略)

会 議 記 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	(資料1整備の概要について)
座長	・ ただいまの説明について、ご質問、ご意見等をお願いします。
大島委員	・ 補足させてください。県の確認申請機関である越谷建築安全センターと計画案について最終的な法規上の協議を行いました。メインシェルターを設置する敷地は、JRの敷地であり、駅舎と道路の敷地の間にあります。シェルターがJRの敷地及び道路敷地にまたがる計画であることが、難点となり、法規上の整理に時間を要しました。主に既存の建築物であるJR駅舎に法的な制約がかからないように協議を重ねた結果、「建築物相互をつなぐ開放の渡り廊下」に準ずるものとしてメインシェルターが整理できました。身障者シェルターは、メインシェルターから構造的に分離する方針としました。また、メインシェルターの範囲調整を行い、無駄のない機能的な計画としました。消防及びJRとの協議の結果、北側のホテル前面に緊急時およびメンテナンス時に、広場から車両進入が可能なように約6m幅の進入路を確保しました。このような検討を重ねた結果のレイアウトとなっていることを補足させていただきます。
座長	・ 本案をもって本委員会で協議し、パブリックコメントで公表できるころまで方針決定しご意見をいただきたいと考えます。
中田委員	・ サブシェルターについては、両側に雨樋がついているのか。雨がザーッと落ちてくるのか。
大島委員	・ 雨樋は設置することを考えています。サブシェルターのイメージは、傘を逆に広げる形も考えていたが、雨が吹き込むことを考え、傘型で雨樋を設置する方向としました。
座長	・ 梁の形状はどのようになるか。

会 議 記 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
大島委員	・ 鳥が止まらないように梁の角度調整等を考えています。
秋葉委員	・ サブシェルターは、前回案ではつながっていたが、今回は分離したのか。
大島委員	・ 今回、皆様のご意見を伺いたいところです。樹木形ということ、デザイン性を考えて分離しました。サブシェルター１，２は、横断歩道があるのでそこで分離した方が良いかと考え、サブシェルター３，４は一体にしても良いように思います。意匠的なもので、ご意見を伺いたい。
秋葉委員	・ 分離していると横断歩道を渡らずに、屋根のあるところで渡ってしまうのではないかと。雨の日の安全性を考えると１，２は繋がっている方がよいのでは。
坂口委員	・ バスの停車位置が移動している。バスには大小の違い、複数の種類のバスがある。停車位置はそうした違いを考慮されているのか。
大島委員	・ 考慮しています。
座長	・ 乗降者数とシェルターの面積の関係性は問題ないか。バスを待っている人の人数は満足するか。分離しても待合人数を満たすか。
大島委員	・ 溜まり空間、待合空間として面積は満たしていると認識しています。ただ、ご意見を踏まえてシェルターを追加接続することも検討します。既存樹木に併せて溶け込むような配置だとおしゃれに見えるのではないかと考えます。
中田委員	・ サブシェルターは、傘の下が2400mmで低いように思うが、外観から見てどうなのか。（シェルター端部高さ原案2700程度）
大島委員	・ 西口のシェルターは、雨が吹き込むことへのご意見が多く、それを踏まえて必要以上に高くしないことを考えています。あわせて鳥が止ま

会 議 記 録 (5)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中田委員	らない高さとすることも考え、高さとしてはさらなる検討が必要と考えます。鳥害対策など更なる検討が必要と考えます。
	・メインシェルターと比べて、樹木の高さと並ぶとサブシェルターの低さは圧迫感がないか。これは反対意見ではなく参考まで確認したい。
横田委員	・西口の屋根の高さについては雨風の吹き込む問題は聞いている。そのあたりが考慮されていると良い。
	・駅前広場の使い方として、雨の日には駅舎屋根で待っている人が多く、その滞留空間がメインシェルターで拡充されると良いと思っています。一方で、サブシェルターは高さを抑えて風雨の吹き込まない機能性を重視した方が良いと考えたものであります。
座長	・メインシェルターの最も高いところと比べても、西口より低くなるのか。
	・西口は最高7m、最低4.5mとなっています。波型をしているので高いところと低いところが出てきますが、実際の高さはさらに検討を進めます。西口よりも低く抑えたいと考えます。
座長	・天気が良いときは高い方が開放的で気持ちの良い面もある。メインシェルターはそれなりの高さがある方が良いでしょうにも思う。
	・進入路の確保に6mをとってもらっている。社内でも確認したい。
大島委員	・重機の軌跡等も考慮した結果、進入路幅を6m程度としている。JRとは個別に協議して確認させていただきます。
	・メインシェルター雲形、サブシェルター樹木形は賛成。バス停の配置が確定したようだが、トイレ敷地の前にバス停があるが、そこに屋根が無いことが心配である。
事務局	・ご指摘のとおり、丸建バスの駐車場となる場所となるが、人の乗降は

会 議 記 録 (6)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
浦委員	タクシー乗り場横の屋根のあるところで乗降し、屋根が無い場所はバス待機場であり、乗降が生じないので問題ないと認識しております。
	・ 中乗り、前降りとなるが、一台分の屋根がかかるという理解で良いか。
	・ そのとおりです。
事務局	
座長	・ このあたり、伸ばせば延伸した方が良いのか。必要最小限で良いのか。
浦委員	・ あとで追加するようだと困る。
横田委員	・ バス停のあるところでしか乗降できないということなら良いだろう。
事務局	・ 原則、乗降できる場所は決まっている。屋根があるところで乗降するため問題ありません。
座長	・ では、ご意見が出揃ったようですので、本案を基本としながらパブリックコメントを行う方向でよろしいでしょうか。
	・ ご賛同いただける方は、拍手をお願いします。
	《拍手》
座長	・ それでは、本委員会の議論はここまで、としたいと思います。
事務局	・ 有難うございました。では、事務局より連絡事項がございます。
	《連絡事項、事務局説明》
	・ 閉会あいさつ